

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



## 日本脳炎注意報が発令されました！

熊本県では、人の日本脳炎の流行を予測するため、毎年7月から9月にかけて、県内産肥育豚の日本脳炎ウイルス抗体検査を行っています。

7月22日に採取した豚の血液を県保健環境科学研究所で検査した結果、日本脳炎に注意が必要な基準に達したため、同月25日に日本脳炎注意報を発令し、県民の皆様には日本脳炎の感染予防等について注意を呼びかけています。

日本脳炎は、蚊（コガタアカイエカ）が媒介するウイルスによる感染症で、豚では流行性脳炎とも呼ばれます。免疫のない妊娠豚が日本脳炎ウイルスに感染すると、死・流産を引き起こすことがあります。また、雄豚が感染すると生殖器の炎症によって造精機能の低下が認められます。

### ○豚の日本脳炎ウイルス感染予防のポイント○

#### ①日本脳炎ワクチンを接種しましょう！

- ・地域で推定される日本脳炎の流行時期までに、種付けを予定している豚を対象にワクチン接種を行い、確実な免疫を与えておきましょう。

#### ②豚が日本脳炎ウイルスの媒介蚊（コガタアカイエカ）に刺されないよう心がけましょう！

- ・農場周りの小さな水たまり（植木鉢皿、古タイヤ、竹の切株など）をなくし、蚊の発生源を減らしましょう。

### ○日本脳炎注意報の発令基準○

2週間以内に日本脳炎に感染したことを示す抗体、もしくは、日本脳炎ウイルス遺伝子を保有する豚が1頭でも検出された場合に注意報が発令されます。



人が発病する場合は、40℃以上の高熱、けいれん発作、昏睡状態等の症状が1週間程続くことがあります。このような症状があれば早めに医療機関を受診してください。

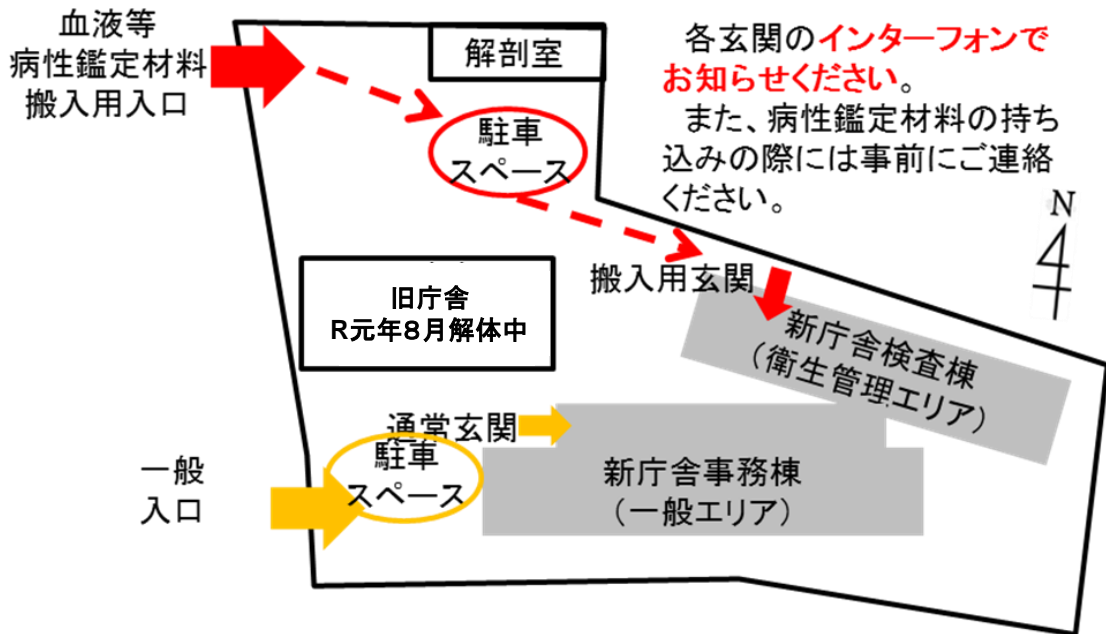
※参考：県健康福祉部健康危機管理課報道資料  
動物の感染症第3版(株式会社近代出版)

# 新庁舎に移転しました！

阿蘇家畜保健衛生所は本年7月1日より新庁舎へ移転しました。新庁舎では、病原体を取り扱う区域(衛生管理エリア)とその他の区域(一般エリア)を区分し、バイオセキュリティを強化しています。

つきましては、病原体の侵入及び拡散防止のために、病性鑑定材料搬入の際には下図を参考に材料の搬入をお願いいたします。

熊本県阿蘇家畜保健衛生所見取り図



国外ではアフリカ豚コレラや高病原性鳥インフルエンザ等の悪性伝染病が発生し、国内でも豚コレラがなかなか終息せず、日々緊張感がありますが、新庁舎でまた心新たに業務に邁進していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します！

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性鳥 インフルエンザ	ネパール	家きん	令和元年6月11日
	ベトナム	家きん	令和元年6月23日
アフリカ 豚コレラ	中国(6件)	豚	令和元年6月18日 ～令和元年7月31日

令和元年8月1日時点

## 毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。  
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

